

広島交響楽団

《STORIES》

Hiroshima Symphony Orchestra The Special Subscription Concert

特別定期演奏会

指揮／クリスティアン・アルミンク
Conductor: Christian Arming

ヴァイオリン／HIMARI
Violin: HIMARI

アルミンク×広響+HIMARIが誘う 天才モーツァルト(生誕270年)の肖像

アルミンクの音楽監督就任からシン・ディスカバリー・シリーズで2年間磨き上げたモーツァルト演奏を定期演奏会の舞台で披露。ソリストに話題のHIMARIを迎えた「特別定期」。前半は青年モーツァルトの屈託のない表情が生き生きと描かれた作風。そして前半の作品からおよそ10年後に作曲された「リンツ交響曲」の完成度とその充実ぶりは驚くほかない。2ヶ月のリンツ滞在中、わずか4日間で書き上げられたという逸話が残されている。

©Shumpei Ohsugi

©Naruyasu Nabeshima

Program

モーツァルト(生誕270年)

交響曲第29番イ長調 K.201(186a)
Mozart: Symphony No.29 in A major K.201(186a)

ヴァイオリン協奏曲第1番変ロ長調 K.207
Violin Concerto No.1 in B-flat major K.207

交響曲第36番ハ長調 K.425「リンツ」
Symphony No.36 in C major K.425 "Linz"

2026 5/29 金

18:45開演
(17:45開場)

■チケット料金 S席8,800円／A席6,600円 (小・中・高校生はS・Aともに半額)
●枚数制限:お一人様4枚まで

■チケット発売日 2026年3月5日(木)
●販売初日は、広響事務局での窓口販売は行いません。

■チケット取扱い 広響webチケット、広響事務局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。



■主催／公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■プレミアム協賛／



巢守金属工業

お問い合わせ／広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

広島交響楽団



Hiroshima Symphony Orchestra The Special Subscription Concert

特別定期演奏会



指揮／クリスティアン・アルミンク

Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンド管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブルクの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮し、岡山公演では広響と共に演奏した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲ニ短調などで高い評価を得ている。2025年4月には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲のライブ録音をリリースした。

ヴァイオリン／HIMARI

Violin : HIMARI

2011年、日本生まれ14歳。「一世代に一人の才能」と称され、その傑出した技巧、想像力豊かな解釈から生まれる深い表現力で、世界のクラシック音楽界にセンセーショナル・ティーンと紹介されてきた。2025年3月、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の定期公演にアジア人最年少ソリストとしてデビュー。

3歳よりヴァイオリンを始め、原田幸一郎、小栗まち絵に師事。2022年には最年少でフィラデルフィアの名門カーティス音楽院に入学。アイダ・カヴァフィアンのもとで研鑽を積む。過去にはリピンスキ・ヴィエニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクール(特賞グランプリ)、アルトゥール・グリュミオー国際コンクールなど数々のコンクールで最高位を獲得。モントリオール「ミニ・ヴィオリニ2023」で「Public Award」を受賞。

これまでにベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、シカゴ交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ピッツバーグ交響楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団等、指揮者にはマリン・アルソップ、ジョナサン・ノット、セバスティアン・ヴァイグレ、カーチン・ウォン、マンフレート・ホーネック、ヤン・ヴィレム・デ・フリーント、ケリー＝リン・ウィルソン、秋山和慶、広上淳一、下野竜也、原田慶太楼氏等と共演している。2025年スイス・ロマンド管弦楽団 日本ツアーにソリストとして共演。ラヴィニア音楽祭ではシカゴ交響楽団と共演。秋にはロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ピッツバーグ交響楽団、スイス・ロマンド管弦楽団の定期公演に出演、2026年2月にはシカゴ交響楽団の定期公演、5月には広島交響楽団の特別定期演奏会、6月にはNHK交響楽団の定期公演に出演予定。

2024年より、ドイツの音楽事務所「KD SCHMID」に所属。2025年3月、名門Decca Classicsと契約。江副記念リクルート財団第52回奨学生。



©Meredith Truax